

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業				
事業名	国府弘子スペシャルトリオライブ						
目的・内容	平成16年度「菊池ひみこDQ」から始まり、平成19年度「渡辺香津美ギター・ネットサンス」に続く小ホール平土間でのライブハウススタイルの継続公演を行うことで、団塊の世代および男性顧客を主なターゲットとしたジャズ公演を開催する。また、潜在的な鑑賞者の掘り起こし（ジャズファン）も引き続き行い、倉吉未来中心でのジャズ公演の定着化と顧客の安定的確保を図る。 【使命】「文化芸術活動の発信と交流」、「県民へのサービス推進」、「文化人口の拡大とレベルアップ」 【事業の柱】「男性の鑑賞者拡大と夫婦や家族等で鑑賞できる機会の提供」						
開催日時	平成20年7月4日(金) 開演18:30						
会場	倉吉未来中心 小ホール						
入場料・参加費 (友の会)	一般 5,000円 (4,800円)						
集客状況	入場者数	200名	設定席数	220席	集客率	90.9%	
事業費状況	予算額	収入	1,116,500円	支出	2,978,000円	収支比率	37.5%
	決算額	収入	999,900円	支出	2,628,689円	収支比率	38.0%
来場者アンケート (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライブハウススタイルのコンサートは始めてでした。ステージと一体化した感じでよかったです。来年も是非来てください。友人も誘って来ます。</li> <li>・ライブハウス形式で演奏者ととても近く、一体になれる感じがよかったです。</li> <li>・純粋なジャズ好きにはもの足りないかもしれないが、内容は充実していた。国府弘子のピアノソロのコンサートも見てみたいと思った。</li> <li>・すっごくいいステージです。国府さんのピアノに、ギター、ドラムそれにトークに笑顔！こんなに楽しめるコンサートは久しぶり！</li> <li>・ドリンクコーナーがある、というのがめずらしい試みだと思うが、これからもおそれず、取り入れてほしいと思った。</li> <li>・椅子が固くて、けっこうキツイです。</li> <li>・段差がないので、椅子が互いちがいに思っているのもっと見やすいように思う。</li> <li>・飲み物を出すなら、もう少しテーブルの数を増やしたほうが良い。コップを持ったままコンサートを見ている人が多数いた。</li> </ul>						
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定着してきた感のある内容(ジャンル)とスタイルであるが、財団としては新しい顧客が取り込めている。</li> <li>・倉吉のような民間の施設も事業も少ない地域では、財団がこのような機会を提供することに意義があると思われる。</li> <li>・ドリンクバーの騒音、人配置や静かな曲での入場制限等に配慮し、昨年の指摘をクリアできたと思われる。</li> <li>・ハガキサイズのチラシ、飲食店等に貼りやすいような変形のポスターを作製し、広報ツールの新しい取り組みができた。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシをハガキサイズとしたため、DM用としては使い勝手がよいが、配布用としては小さく、他の印刷物に挟み込むとすぐ落ちてしまうなど、一長一短であった。</li> <li>・ライブハウススタイルは新たな鑑賞者開発に有効であるが、鑑賞型事業である以上、収支比率をもう少し上げる必要がある。</li> <li>・小ホールの小ささが生む一体感がある一方で、会場が狭いために、ドリンクを片手に楽しむには手狭で、椅子の配置やテーブルの数に課題が残った。</li> </ul>						
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライブハウスがない地域のため、体感できない人達へ提供できた。</li> <li>・DMチラシはおしゃれで取り扱いやすく、持ち運びしながら気軽にお薦め案内しやすかった。</li> <li>・地方であるため、そんな場に触れる事の少ない者にとって都市との格差を広げないためにも、今後も続けてほしい事業。</li> <li>・中高年のファンが見られたことが良かった。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バーなどの協力店、コンサートに関する協力店は、どんどん透明性を踏まえて募って欲しい。</li> <li>・中高生にも対象となるワークショップ風な公演もあってよいと思う。</li> </ul>						
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心を引く媒体、方法など、その内容に応じた効果的な広報手段を適宜検討していく。</li> <li>・入場者率、観客の満足度が高く、ニーズもあることから、新たな目標設定をし、今後も地域の特性を活かした事業展開を検討していく。</li> <li>・公演に実施方法(1日2回公演などの複数回開催、アルコールを出す公演のため、週末に開催するなど)を企画段階でよく検討する。</li> <li>・バーの協力店の選考方法なども透明性を出せるように検討する。</li> <li>・事前ワークショップなどの開催を検討していく。</li> </ul>						